



[本校] 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1  
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690  
[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169  
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117  
🌐 <https://www.nuis.ac.jp> ✉ [somu@nuis.ac.jp](mailto:somu@nuis.ac.jp)



## 貴重な現場を体験

インターンシップ・学外実習 (2面)

〈第28回 紅翔祭〉

コロナ禍乗り越え2年ぶりに開催 (4面)

高校生英語スピーチコンテスト (3面)

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は [nuischannel@nuis.ac.jp](mailto:nuischannel@nuis.ac.jp) までお問い合わせください。

## CONTENTS

(2・3面) 教員の活動

(3面) 大光銀行と連携協定  
湧源

(4面) 海外研修レポート



NUISホームページ  
<https://www.nuis.ac.jp>  
(スマートフォン対応)



Facebookページ  
<https://www.facebook.com/nuis.face>



Instagram



Twitter  
@nuis\_nabbit



YouTube  
公式  
チャンネル



## 学外実習

私は8月30日から9月3日までの5日間、アクシアルリテイリング株式会社でのインターンシップに参加しました。今回参加したインターンシップは、1日目と5日目は本部で実習を行い、2日目からの3日間は自宅近くの店舗で実習を行いました。初日のガイダンスや配送センターの見学から始まり、実店舗で店員としての勤務、そして最終日の商品開発部の方からのお話や座談会など、とても充実した内容でした。

## アクシアル リテイリング

今回のインターンシップを通じて数多くの経験や学びを得ることができましたが、特に私が学び、感じたのは、お客様の声を大切にすることです。例えば一時的に売り場



情報システム学科 3年 島垣 光

お客様から「ここにあった商品はもうありませんか」とお声をいただくことがありました。この件ではバックヤードに在庫がないため、お客様に他の商品を提案する形になりましたが、お客様が求められている物を常にくみ取って反映させることは次回以降来店していただく上で大切なことであると、この経験から感じることができました。

また最終日に行われた商品開発部の方からのお話や座談会では、ナショナルブランドにはない、お客様が本当に求めている商品を開発するまでの苦悩や達成感など貴重なお話を聞くことができ、どのお話も大変貴重な教訓となりました。

今回のインターンシップを通じて、私は改めて仕事には相手にしているお客様の気持ち、そして求められる物や事に対する期待に込める大切さを知ることができました。インターンシップで得た経験や学びは、今後も続く就職活動やそれ以外の場でも生かしていきたいと思っています。

## インターンシップ

私は8月30日から9月3日までの5日間、一般社団法人新潟県経営者協会にインターンシップに行きました。新潟県経営者協会では、電話対応をはじめ、セミナーの準備などの一般業務を行いました。

## 新潟県経営者協会



国際文化学科 3年 津村 和楓

概要を説明するとともに、自分なりの意見と疑問点をプレゼンテーションするというものでした。

本格的なプレゼンテーションは、初めてだったので、なかなか思い通りに準備することができず、発表の時間を迎えませんでした。

当日は徳武専務理事と佐藤事務局長に向け、プレゼンテーションを行い、講評をいただきました。全体としてはよく伝わりましたが、一つの意見として、「男女平等」と「男女公平」の違いについて新たな視点から考えたほうがいいとのアドバイスをいただきました。また、グラフや図で使った言葉の表現が、統一されていないと指摘もいただきました。普段学内で

の発表ではあまり気にすることなく使用しており、今後は意識して取り組みたいと思いました。今回の新潟県経営者協会でのインターンシップでは、一般業務だけでなく、社会人としての心構えはもとより立ち居振る舞いやマナーについても教えていただき、将来自分自身の具体的な働くイメージを持つことができました。これらの学んだことについて、今後の就職活動に生かしていきたいです。

### 瀬戸 裕之(国際文化学科・准教授)

・(2021年7月31日) 令和3年度新潟市民大学「つながりから見えるアジアの姿と未来」第5回各論5「ラオス 語り継ぐ戦争の記憶～新潟(長岡)との比較から～」(新潟市生涯学習センター クロスバルにいがた)

### 藤瀬 武彦(経営学科・教授)

・(2021年9月9日) 「一般男女大学生におけるフリーウエイト運動時の酸素消費量及び運動効率～70%1RM強度でのベンチプレス及びパラレルスクワットにおいて～」日本体育・スポーツ・健康学会 第71回大会(筑波大学・オンライン)

### 藤田 美幸(経営学科・准教授)

・(2021年6月26日・27日) 「ICTによる健康行動変容の検討ーリングフィットアドベンチャーを用いた消費者行動の事例ー」日本情報経営学会 第81回全国大会(オンライン)  
・(2021年7月10日・11日) 「covid19拡大時の活動自粛による大学生の健康・スポーツ活動に及ぼす影響ーセルフ・エフィカシーと刺激の関連性に着目してー」日本スポーツ産業学会 第30回

大会(オンライン)

### 藤本 直生(国際文化学科・准教授)

・(2021年9月24日) 「イギリスの結婚式と最近の結婚事情」ほのほのカフェ(地域の茶の間)(新潟市立五十嵐中学校)

### 吉澤 文寿(国際文化学科・教授)

・(2021年6月27日) 「日韓会談反対運動に関する日常史的研究ー日本朝鮮研究所事務局長の日記を通して(1946年8月から1950年3月まで)ー」在日朝鮮人運動史研究会関東支部(東京都新宿区)  
・(2021年8月12日) 「サンフランシスコ講和条約と『戦後日韓関係』の原点ー『1965年体制』をめぐる考察ー」東北歴史財団(韓国)サンフランシスコ講和条約70周年国際学術会議(同財団大会議室・オンライン参加)  
・(2021年8月13日) 「未来日韓文化財専門家育成のための方案模索」国外所在文化財財団(韓国)第10回日韓文化財専門家セミナー(ミレニアムヒルトンソウル・オンライン参加)

# 高校生英語スピーチコンテスト



最優秀賞に輝いた堀井さんのスピーチ

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症拡大が収束しない中、多くのイベントが中止や遠隔での開催となり、県内の高

## 最優秀賞に堀井映希さん（新潟明訓高2年）

私ができる国際貢献 with コロナ

国際貢献 with コロナ」をテーマにスピーチを行いました。審査は、テーマの適切さ、発音、視線、表情、ジェスチャー、質問の理解度と回答の確さなどによる総合的な評価で行われました。当日は、対面ならではの緊張感漂う雰囲気の中、80名の聴衆の前でハイレベルな英語スピーチが行われました。

7回目を迎えました。今年でコンテストは今年で2年連続です。審査の結果、最優秀賞に新潟明訓高校2年堀井映希さん、優秀賞に開志国際高校2年中島千裕さん、開志国際高校2年T r i n h A n h N g o c M i n hさん、審査員特別賞に直江津中等教育学校1年横田莉己さん、K T Cおおぞら高等学院3年佐藤広明さんが選ばれました。

7月18日に「第7回新潟県高校生英語スピーチコンテスト」が開催されました。このコンテストは、高校で英語を学ぶ若者が世界中の異文化や諸問題に対する関心を高め、英語学習充実の一助となることを目的に、本学が主催して毎年行われるイベントです。

在校生も発表の場が制限されている状況です。本学では多くの高校生の日ごろの努力の成果を発揮できる場を設けるために、感染防止対策を万全に行った上で、対面で開催しました。

県内の高等学校・中等教育学校13校から29名が、「私ができる国際貢献 with コロナ」をテーマにスピーチを行いました。審査の結果、最優秀賞に新潟明訓高校2年堀井映希さん、優秀賞に開志国際高校2年中島千裕さん、開志国際高校2年T r i n h A n h N g o c M i n hさん、審査員特別賞に直江津中等教育学校1年横田莉己さん、K T Cおおぞら高等学院3年佐藤広明さんが選ばれました。

# 大光銀行と連携協定



本学は新潟の地域産業および地域社会の持続的な発展と、学生の教育に寄与することを目的として、株式会社大光銀行と包括連携協定を締結することになり、7月15日に大光銀行の石田幸雄頭取をはじめ4名の関係者が来学され、包括連携協定書の調印式を執り行いました。

## 環境保全テーマにワークショップ開催へ

大光銀行は県内でも有数の金融機関であり、今までも持続可能な社会の形成に向けた活動を行ってまいりました。大光銀行は、環境保全分野で「ビニールやプラスチック等の削減」などに関するワークショップを、10月11日（土）に開催を予定しています。今後は本学と大光銀行が、互いに保持している様々な知的財産や人的資源などを双方が協力して有効に活用することで、新潟の地域産業・地域社会の持続的な発展につながる活動を行ってまいります。

## 地域社会の持続的発展目指して

活動だけでなく、環境対策を実施している取引先への支援をはじめ、様々な環境保全活動に取り組んでいます。また、地域社会の発展に奉仕することを経営理念に掲げており、こうした大光銀行の取り組みは、本学が掲げている「地域と共に生き、地域と共に歩み続ける」という設立理念と合致していることから、ともに新潟のために取り組んでいくことで合意しました。

## 湧源 編集後記に代えて

入試委員長 白井陽一郎

人文社会系の講義には、いくつかのタイプがある。ひとつは、誰が教えても内容に変わりなく、その分野の教科書的事項を過不足なく学生に提示するタイプである。この授業スタイルをつまらないと揶揄する教員がどの大学にもいる。その教員による講義がふたつめのタイプだ。このタイプでは教員自らの主張が真理として語られ、往々にして政治的論争点や授業の目玉となる。最後に、自分の研究範囲に限定された事項だけを淡々と語るタイプの講義がある。社会がどう動こうが、教員が自らの守備範囲を出ることはない。

入門書の2、3冊を斜め読みしつつ講義を受ける学生にとって、一つ目のタイプは金返せのつまらなさだ。二つ目の場合、授業でしか勉強しない学生には歪んだ知識が植え付けられる。三つ目の場合、体系的知識なしに部分特化された内容が投げつけられるわけで、面白さも意義もなかったものではない。とはいえ、学生の知的発展段階も知の志向もそれぞれに異なる。学生それぞれに何かしらの意義を感じ取れる場合もあるだろう。たとえばタイプ3の授業の場合、教員のマニアックな世界にハマる学生がひとりでも出てきて、その後の読書生活が研究の域に達するほどの深みと広がりを実現するとしたら、たとえ他の全ての学生がつまらないと評価する授業であったとしても、完全否定されるものではない。授業の監視と教員の評価というディストピア。その可能性がリアルに漂う大学にだけはしたくない。

## 教員の活動（本人申告による）

### 1) 研究論文・図書

- 矢口 裕子(国際文化学科・教授)
  - ・(2021年6月) "Anais Nin's Paris Revisited: The English-French Bilingual Edition (wind rose-suisseisha)" (141頁)
- 吉澤 文寿(国際文化学科・教授)
  - ・(2021年9月) 編著「はじめに」『日韓会談研究のフロンティア「1965年体制」への多角的アプローチ」(280頁)

### 2) 学会・研究会・講演等

- 今井 裕紀(経営学科・講師)
  - ・(2021年9月18日・19日) 「キャリア目標不一致を介した中核的自己評価と抑うつ関連」経営行動科学学会 第24回年次大会（関西大学・オンライン）

行動科学学会 第24回年次大会（関西大学・オンライン）

### 内田 亨(経営学科・教授)

- ・(2021年6月13日) 「水産養殖事業に関する経営・情報学の適用可能性」経営情報学会 2021年度年次大会ポスター発表（オンライン）
- ・(2021年6月26日) 「水産加工企業の顧客価値創造：フランス企業の事例を通して」日本情報経営学会 第81回全国大会（東京経済大学・オンライン）

### 佐藤 若菜(国際文化学科・准教授)

- ・(2021年7月4日) 「機械刺繍は衣装製作に何をもたらしたのか：中国貴州省ミャオ族の事例から」国立民族学博物館共同研究会「伝統染織品の生産と消費：文化遺産化・観光化によるローカルな意味の変容をめぐる」(国立民族学博物館・オンライン)



## エクス・アン・プロヴァンス政治学院

— 経営学科 教授 内田 亨

フランスの首都パリから  
ろにエクス・アン・プロヴァ  
800キロ南、地中海から  
アンス政治学院がある。同  
校の前身は1872年に始  
は30キロ内陸に入ったとこ

## 海外研修レポート



政治学院正面(18世紀の建物)

まる。  
私が到着し  
た時は、すで  
に遠隔授業に  
なっており、  
罰金を伴う21  
時以降の外出  
禁止令も行わ

## 行動制限下で続けた調査研究

ピークを付けた。2021  
年4月にも3度目のロック  
ダウンが1カ月ほどあり、  
フィールドワークは困難を  
極めた。  
私はなるべく食料品購入

に危険が身近であった。  
私の研究テーマは、いく  
つかあるが、中でも「水産  
養殖事業のグローバルビジ  
ネスの構築」(日本学術振  
興会科学研究費)と「地方

クダウンの合間を縫ってイ  
ンタビュー調査・工場見学、  
オンラインによる学会発表  
を行った。  
最後に、こうした機会を  
与えてくださった大学、教

職員の皆様、エクス・アン  
・プロヴァンス政治学院、  
ホームステイ先のご家族、  
調査協力をしてくださった  
方々に深く感謝を申し上げ  
たい。

れていた。2020年10月  
30日からロックダウンとな  
り、12月15日に一部解除さ  
れた。この間、連日1日の  
感染者数が2万人を超えて  
おり(フランスの人口は日  
本の約半分である)、11月  
7日には8万6852人の

のための外出をしなくても  
よいように、1日3食付き  
のホームステイを選んだ。  
しかし、ステイ先の家の大  
学生が濃厚接触者となつた  
り、インタビュー調査を受  
けてくれた方が新型コロナウイルス  
に感染したりと常

の中小企業のグ  
ローバル展開モ  
デル」(学内共  
同研究)に重き  
をおいた。私は  
前述した制限下  
でも地道に研究  
を推進し、ロッ



インタビュー先の方と

## コロナ禍乗り越え2年ぶりに開催



第28回紅翔祭(10月2、3日)

は、新型コロナウイルス感染症  
の懸念がある中、約500人を  
超える方にご来場いただき、無  
事に2日間の日程を終えること  
ができました。

今年度の紅翔祭は、新型コロ  
ナウイルス感染症の影響で社会  
状況が大きく変化してから初の  
“対面”での開催ということもあ  
り、感染症対策

には特に力を入  
れる必要があり

ました。学内の人に限定せず、  
地域の人たちも参加できる開催  
に向けて、実行委員を中心に、

## フェアトレードCafe・ビンゴ大会・お茶会を満喫

じます。一方で、このような状  
況でも、模擬店をまわる家族連  
れの方や、イベントで盛り上

ができた、地域の人たちと共に  
楽しむことができたという、前  
向きな気持ちになれた人が一人

にありがとうございました。  
(実行委員長 渡邊 絢音  
経営学科 3年)

これまで経験したことのない感  
染防止対策を検討し、前日まで  
何度も確認しながら準備をしま  
した。  
当日は、専用入場口での入場  
者管理、飲食可能スペースの制  
限と黙食の徹底など、来場者に  
は多くの制限を課してしまいま  
した。また、外部からの出展も  
募らなかつたため、模擬店の数  
もかなり少なくなつてしまいま  
した。振り返ってみると、制限  
の多い窮屈な紅翔祭だったと感

がる学生の皆さん  
を見て、救われた  
ような気持ちにな  
りました。  
今年度は、例年  
と比べてかなり小  
規模だったため、  
物足りなく感じた  
人や、そもそも開  
催自体に批判的だ  
った人も多かつたと思います。  
このような中でも、紅翔祭に参  
加して、大学生活を楽しむこと



でもいたなら、  
とても嬉しく感  
じます。来年度  
以降、新型コロ  
ナウイルス感染  
症の懸念が消  
え、例年以上に  
盛り上がる紅翔  
祭を開催できる  
日が来ることを

願っています。  
最後に、協力してくださった  
実行委員、教職員の方々、そし  
て来場者の皆様  
に心から感謝い  
たします。本当